

R 5. 1 学期避難訓練

全員避難が終了しました。

避難開始の放送が入ってから、全員が整列するまで 6分 30秒でできました。

避難するとき、おしゃべりもなくみんな真剣に取り組んでいてすばしかったです。

学年が変わって、避難の仕方も変わりましたが、今日の訓練でしっかり覚えましょう。

今回は火事が起こったということでの避難です。火や煙にやられないよう火が出たところに近づかないようにして一刻も早く外に出られるようにしなければなりません。そして、外に出たら、いち早く整列して、人数の確認をすることです。これは、今日の訓練だけでできるものではありません。体育の授業の集合・整列などで身に付けていくものです。普段からこれができない人が、火事や地震の時にどうしていいかわからなくなったり、怪我をしてしまったり、さらには周りに迷惑をかけたりしてしまいます。

火事が起きて、避難するときの大切なことを3つ話します。

一つ目、口を閉じて避難することです。火事の場合は煙がたくさん出ます。火事で命を落としてしまうのはやけどをしてしまうからより煙を吸ってしまって息ができなくなるからです。煙を避けるため、ハンカチで口を覆ったり、姿勢を低くしたりすることも必要になります。

二つ目は、防災頭巾などをかぶって頭を守ることです。普段使わないからといって、防災頭巾を持ってきていない人はいませんか。また、破れてしまっていて使えない人はいませんか。点検して必ず用意しなさい。

最後に、避難するときの合言葉、「おかしもち」おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、近寄らない、忘れないようにしましょう。

これで、校長先生の話が終わりにします。